

令和7年度  
すくわくプログラム活動報告書  
(実施対象：1歳児クラス)

モニカ茗荷谷駅前園



テーマ

## 自然と植物の関係性

### 設定理由

公園や散歩先に咲いている葉や花、植物に興味を持ち、触ったり持って帰ろうと自ら関わり始めた。植物を身近に感じ、親しみを持って触れようとしているため、より興味や親しみを深めると共に大事にする気持ちや共感する関係性を深めたいと思ったため。

### 対象クラス

1歳児クラス・10名

### 活動のねらい

植物を育てながら、生長したことを喜び、植物への関心を深める。

### 問い

「おおきくなってきたね」「めがでたね」  
「はっぱだね」「ねっこがでてきたね」

### 活動期間

令和7年11月～令和8年2月

### 活動回数

計4回

## 活動①

# クリップライトとクリップ拡大鏡で観察する

### 環境構成

①1歳児保育室にて、数人毎で行う。保育室：3名(職員1名)、廊下：残り7名は職員2名と過ごす。



②棚2つの空間と低い棚に植物を各2個ずつ配置する。

③クリップライトとクリップ拡大鏡を使い、植物を観察する。手で触れたり匂いを嗅いだりする。各10分間。

④保育者と一緒に感じたことを伝え合ったり発見したりする。

⑤子どもがどんな発見をし、言葉や表情で表すのか見る。



## 準備物

クリップライト(2) | クリップ拡大鏡(2) | ヒヤシンス(1) | クロッカス(1) | フリージア(1)  
コスモスの種(1) | 花瓶(4) | パキラ | ガジュマル

## 子どもの姿

保育室に設置された植物や普段と異なる環境を見て、「これなあに」という発言や静かに見つめたり様々な方向を見たりと、大きな興味を持っていた。3カ所の植物のコーナー、一つひとつ気になる所へ向かい、植物と同じ目線になって見たり指先で触れたり掴んだりと自発的に関わる姿が見られ、友だちと保育者の関わりを見て、自分も触れてみたいと関わる様子があった。球根では、拡大鏡を覗いたり拡大鏡を使用せず目線を近づけたり観察し、ライトに照らされて鏡で広がる根にも気づき指先で辿ったり「いっぱい」「ながい」と気づいたりしていた。ガジュマルやパキラのコーナーでは、「はっば」と嬉しそうに触れたり、ライトに照らされた幹を見て形に興味を持ち指先で恐る恐る触れたりしていた。また、影にも気づき保育者が何が見えるか尋ねると「なんかいる。あやかせんせい」と発言があった。

## 振り返り

- 普段と異なる保育室の薄暗さや植物やテーブルの配置に興味しつつも植物に関わろうとする姿があった。
- クロッカスやフリージアの鉢は前日、クリップライトは当日に初めて設置した為、慣れないものへの興味から土を掴んで落とす遊びに繋がったりライトに手をかざしたりと植物への興味を防いでいたので、日頃から保育室に設置し慣れておく良かった。
- 子どもたちの表情や声に気づけるようにし、その気づきから保育者が「なんだろうね」等とゆっくり言葉を掛ける関わりをしたことで、植物に向き合い集中して観察しようとしたり、発見を言葉や表情・仕草で伝えようとしたりする姿が見られた。

# 活動① 植物を見てみよう

R7.11月  
いちご組



公園や散歩先に咲いている葉や花、植物に興味を持ち、触ったり観察したり持って帰ろうとしたり自ら関わり始めた。植物を身近に感じ、親しみが芽生え始めたため、保育室内で植物を育て、観察することにした。

なにかな  
いっぱい

ながい、ながいね



おっ

なにかいた、みえるよ  
せんせいかな？



手や指先で触れて関わることで、「これは何だろう？」と興味深さを感じ、一つひとつの発見を楽しんでいた。植物と同じ目線になり、じっくり見つめることで根や葉の形、大きさ、感触、匂いに気づき、驚き・不思議さ・面白さを表情で表現していた。保育者が「これは何かな？」と問いかけると、感じた思いを言葉にしようと一生懸命考える姿が見られた。拡大鏡やライト、鏡を使用して観察することで、根の広がりや影にも気づき、発見する楽しさや期待を感じているようだった。

## 活動②

# クリップライトとクリップ拡大鏡で観察する

### 環境構成

① 1歳児保育室にて、数人毎で行う。保育室：3名(職員1名)、大部屋(2歳児クラス)：残り7名は職員2名と過ごす。



② 棚2つの空間と低い棚に植物を各2個ずつ配置する。

③ 生長前の写真を壁に貼る。

④ クリップライトとクリップ拡大鏡を使い、植物を観察する。手で触れたり匂いを嗅いだりする。各10分間。

⑤ 保育者と一緒に感じたことを伝え合ったり発見したりする。

⑥ 子どもがどんな発見をし、言葉や表情で表すのか見る。



## 問 い

「なんだろうね」「なにがみえる」「おおきくなったね」

## 準備物

クリップライト(4) | クリップ拡大鏡(2) | 拡大鏡(3) | ヒヤシンス(3) | クロッカス(2) | フリージア(5) | パキラ | ガジュマル  
ミント | ローズマリー | 花瓶(4) | テーブル(1) | 棚(1) | 鏡(1) | 白い模造紙(2) | 生長前の写真(4)

## 子どもの姿

保育室に入ると「わあ」「すごい」と発言があり、手持ちの拡大鏡に気付くと興味を示し手に取り「みてみよう」と覗き込む姿やその姿を真似しながら植物の観察をしていた。拡大鏡で写真に写っている植物を覗き込む様子や写真と実物の植物や土に手で触れながら不思議そうに目線を合わせみる様子があった。伸びている葉に手を伸ばし種類の違う葉っぱを交互に触りながら指先で感触を味わっていた。ライトに触れる中でライトに照らされ影が出来ていることに気が付き「お」「おお」発見したことを表現していた。

## 振り返り

- 普段と異なる環境であったが落ち着きながら、興味を示し植物の観察をしながら関わっていた。
- 隣の保育室から光が差し込むと、気持ちがそっちに向いていたので設定する場所を変更するか布などで光が差し込まないように環境を整えれば良かった。
- 前回より興味が薄れた瞬間もあったが、子どもたちの発言に耳を傾け共感しながら、気付きや発言に対し「どうなってるかな」「なんだろうね」と声をかけたことで、より植物に興味を示したり観察したりする姿があった。

## 活動② 植物をみてみよう～触れてみる～

R7.12月

いちご組



水をあげたり声を掛けたりし  
いちご組と一緒に過ごしてきた友だち(植物)の  
生長を拡大鏡で観察したり指先で触れたりした。

なんだろう



これなに、かたいね



あ、あった



以前は球根や葉・土を強く触り千切る姿があったが、日々を一緒に過ごしてきたことで愛着を持ち優しく触れ関わっていた。拡大鏡を通して覗く植物たちは、子どもにとって不思議な世界のように「これなに」「見えるよ」「葉っぱあった」とじっくり観察しながら、ライトに照らされた影や写真と実物を交互に触れ感触の違いに気づき、発見を喜び保育者に伝えていた。落ち着いた環境の中で植物と触れ合うことで、生長や発見を感じているようだった。

### 活動③

## 植物を観察し、表現しようとする

### 環境構成

① 1歳児保育室前廊下にて、数人毎で行う。廊下：3名(職員1名)、1歳児保育室：残り7名は職員2名と過ごす。



② 床や壁に模造紙・画用紙（黒）を貼る。

③ 棚やテーブル、床、模造紙・画用紙の上に植物を配置する。

④ クレヨン（白・茶・緑）を各場所に用意する。

⑤ クリップライトとクリップ拡大鏡を使い、植物を観察する。

手で触れたり匂いを嗅いだりする中で、クレヨンを使って表現しようとする。各10分間。

⑤ 保育者と一緒に感じたことを伝え合ったり発見したりする。

⑥ 子どもがどんな発見をし、言葉や表情、クレヨンで表すのか見る。



## 準備物

「なんだろうね」「なにがみえるかな」「おおきくなったかな」

## 準備物

クリップライト(4) | ヒヤシンス(3) | クロッカス(1) | フリージア(1) | ガジュマル | ミント | ローズマリー | 花瓶(3)  
テーブル (2) | 白い模造紙(3) | 黒い画用紙(3) | 養生テープ(1) | クレヨン 白・茶・緑(4) | クレヨンの入れ物(4) | 衝立(2)  
延長コード(2)

## 子どもの姿

廊下の環境を見てすぐ驚きを感じ、一つひとつ観察していた。植物を観察するなかで、クレヨンを発見すると「くれよん」「みどり」「あった」と保育者に伝えたり、床の模造紙に描き始めたりし、後にテーブルの上に設置された衝立の模造紙や黒い画用紙にも描いていた。友だちが描く様子を見て、模倣し隣で描いて楽しさを感じる様子があった。描くことに集中するなか、傍にある植物にも意識が向き、葉と同じ色のクレヨンを探し「いっしょ」と見比べたり、花瓶の中の根を辿るようにクレヨンを動かしたり、葉の大きさの違いに気づくと自分が描いたものと比べ「おおきい」「ちいさい」と表現したり、ライトに照らされてできた影に気づきクレヨンで触れて描こうとしたりする姿があった。

## 振り返り

- 前回の反省を活かし、全体はいちご組保育室で遊び、プロジェクト保育は廊下で行なった為、環境に驚く様子があったものの期待感を持って集中して取り組んでいた。
- 描くことを楽しみながら、植物にも気づき、違いを発見する姿があり、ゆったりとした環境で声を掛けながら関わることができた。
- 根が気になり花瓶に描こうとする様子があったので、根の部分の白い紙に投影して描けるようにすると、興味や表現の幅が広がると感じた。
- 事前にクレヨンの周りの紙を少し剥がしておくことで、保育者が紙を剥がすことに気をとられず参加できたと反省する。
- クレヨンで描いた模造紙や画用紙は日付を記載しておき、月日経ってからまた描くと表現の成長が見られるのでは。

## 活動③ 植物を見てみよう

～クレヨンを手にして～



R8.1月  
いちご組

年末年始の休み明け、生長した友だち（植物）の変化に気づき、更に興味を持つようになった。クリップライトと茶色、緑色、黄緑色、白色のクレヨンを設置し、観察することにした。

これなに？

おおきい、ちいさい



いっしょ

ここにもある



あれ？



ライトに照らされたたくさんの植物を見渡すと、一つひとつ見つけては優しく触れたり、保育者に発見したことを伝えようとしたりしていた。設置されたクレヨンを手にとると、植物の傍に描き始める子どもたち。大きく描いたり、小さく描いたり、長い線を描いたりと夢中になるなか、描いたものと葉の大きさが同じだと感じたり、色を見比べたりと発見を喜んでいた。また、根や影にも気づくと、不思議さを感じながら指で辿り、クレヨンで辿る面白さを感じる様子もあった。じっくり関わることで、子どもたちの「なんだろう？」「やってみたい」という思いが溢れていくようだった。

## 活動④

# プロジェクターに写る植物を観察し触れようとする

### 環境構成

① 1歳児保育室にて、数人毎で行なう。保育室：3名(職員1名) 大部屋(2歳児クラス)：残り7名は職員2名と過ごす。



- ②天井から白いカーテンをぶら下げる。
- ③プロジェクターで観察してきた植物を映し出す。
- ④映し出された植物に触れようとしたり体で感じたりする。
- ⑤保育者と一緒に感じたことを伝え合ったり発見したりする。
- ⑥子どもがどんな発見をし、言葉や表情で表すのか見る。



## 準備物

「なんだろうね」「なにがみえるかな」

## 準備物

プロジェクター | 白いカーテン | プロジェクターに映す写真

## 子どもの姿

廊下の環境を見てすぐ驚きを感じ、一つひとつ観察していた。植物を観察するなかで、クレヨンを発見すると「くれよん」「みどり」「あった」と保育者に伝えたり、床の模造紙に描き始めたりし、後にテーブルの上に設置された衝立の模造紙や黒い画用紙にも描いていた。友だちが描く様子を見て、模倣し隣で描いて楽しさを感じる様子があった。描くことに集中するなか、傍にある植物にも意識が向き、葉と同じ色のクレヨンを探し「いっしょ」と見比べたり、花瓶の中の根を辿るようにクレヨンを動かしたり、葉の大きさの違いに気づくと自分が描いたものと比べ「おおきい」「ちいさい」と表現したり、ライトに照らされてできた影に気づきクレヨンで触れて描こうとしたりする姿があった。

## 振り返り

- 前回の反省を活かし、全体はいちご組保育室で遊び、プロジェクト保育は廊下で行なった為、環境に驚く様子があったものの期待感を持って集中して取り組んでいた。
- 描くことを楽しみながら、植物にも気づき、違いを発見する姿があり、ゆったりとした環境で声を掛けながら関わる事ができた。
- 根が気になり花瓶に描こうとする様子があったので、根の部分を白い紙に投影して描けるようにすると、興味や表現の幅が広がると感じた。
- 事前にクレヨンの周りの紙を少し剥がしておくことで、保育者が紙を剥がすことに気をとられず参加できたと反省する。
- クレヨンで描いた模造紙や画用紙は日付を記載しておき、月日が経ってからまた描くと表現の成長が見られるのでは。

## 活動④ 植物を見てみよう

～全身で感じて～

R8.2月

いちご組

子どもたちが全身で感じ全身で表現できるよう、白いカーテンや壁に育ててきたヒヤシンスの写真をプロジェクターで投影し全身で触れた。



「おおきいね」



「たかいよ」

「お！ヒヤシンス」



「よしよし」

大きく映し出されたヒヤシンス。

初めて目にするに驚き立ち尽くしていた。

様々なところに出現するヒヤシンスに不思議さを感じながら

全身でヒヤシンスに触れ観察し

映し出されたヒヤシンスと育てているヒヤシンスを

指差し見比べ「いっしょ」と保育者に伝え

発見を友だちにも共有していた。

「ばあ」「いた」



## 全体の振り返り

---

- 保育者からの声掛けより子どもたち自身からの発信が多く感じた。
- プロジェクト保育の活動だけでなく、日々の生活の中にも自然と取り入れ、溶け込んでいるので、参考にしたいと思った。
- 植物の生長を見て喜びを感じていると思った。
- プロジェクター投影のスクリーンに圧倒されたと思われるが、実際の植物と「一緒」と気づいたことがすごい。これまでの経験から日常の気づきに繋がり、少ない言葉だがその一言に全てが凝縮されていると感じた。1歳児ならではの表現だと思った。
- 一つひとつの写真がとても素敵だと思った。
- 写真からその当時の子どもたちの発見を楽しむ様子が想像できた。



**株式会社モニカ**

〒105-0004  
東京都港区新橋1-5 KDX新橋駅前ビル 3F  
TEL:03-6661-2466  
FAX:03-6661-2467

**モニカ茗荷谷駅前園**

〒112-0002  
東京都文京区小石川5-3-2 エイト印刷ビル2階  
TEL:03-5615-8798  
FAX:03-5615-8799